

花きりん新聞 12号



発行者：NPO 法人コラボえどがわ

ボローニャ



ごあいさつ

6月2日に平成29年度総会が無事に終わりました。今年は、法人設立してから、おかげさまで丸5年が経ちました。振り返ってみれば、事業開設当初は、よちよち歩きたった「花きりん」がやっと大地に根を張り、歩けるようになってきたように思います。今年度から、地域への普及啓発事業としてご利用者の家族の方を対象に、「家族会」を設立し、共に当事者の方の自立支援を行いながら、ご家族の方のご負担を軽減し、親御さんが安心して生き生きと過ごすことが出来るよう、陰ながら応援させていただければと考えています。

理事長 鶴岡 恵子（つるおかけいこ）



ワーク花きりんより

今年からワーク花きりんの常勤職員として利用者の皆様の支援を担当させていただいております高嶋と申します。今ワーク花きりんでは、革小物を製造・販売する「自主製品プロジェクト」を、来年度の本格始動に向けて着々と進めています。幸いにも、既に口コミで幾つかの受注をいただいておりますので、現在利用者さんと一緒に市場の商品に負けない、クオリティの高い製品作りを目指して、日々技術を磨いている最中です。より使いやすくするために設計を見直し、試作を繰り返すなど大変なこともありますが、「モノづくり」を通じて、自分の創り上げたものを多くの方に使っていただける喜びを共有し実感することで、利用者の皆様の支援の一助になればと思っております。商品や販売に関することなどは、ワーク花きりんまでお気軽にお問い合わせ下さい。またホームページでも情報をお伝えしていく予定です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

高嶋洋介（たかしま ようすけ）

受注生産を計画中です。
ご興味のある団体・法人
様など、お気軽にお問い合わせ
ください！

写真上：革製品製造に使用中
の業務用ミシン

写真中央：革製品プロジェクト
における試作品のカードホルダー

写真下：同メモパッド



ナース花きりんより

～ウガンダの「衣」～

こんにちは。ナース花きりんスタッフの五十嵐です。

暑い夏を乗り越えたと思った途端、空気がぐっと寒くなったりまた暖かさが戻ったり…

今年は衣替えの慌ただしい秋になりましたね。ウガンダは一年中

気候が安定しているため、衣替えは不要ですが、今回はウガンダの女性が着る伝統衣装「ゴメス」についてご紹介いたします。

ゴメス…強そうな名前ですね…有名な野球選手を思い浮かべる方もいらっしゃるかもしれません。ゴメスは肩の部分が角のようなデザインになっているのが特徴です。着付けが難しいように感じるかもしれませんが、腰元で裾を端折ったり、最後は帯で締めたりと日本の浴衣に似ています。ゴメスは特別な日に着る、ウガンダ女性のここ一番の勝負服です。

皆さんの勝負服は何ですか？寒さが強くなる前に、天気の良い日を見計らって勝負服でちょっとお出かけしてみるのはいかがでしょうか？

五十嵐 美幸（いがらしみゆき）



内職ご依頼や見学・ご利用のご相談は、電子メール
(soumu★collaboedogawa.net)
または下記事業所までお気軽に
お問い合わせください。

メール送信時は★を@に置換ください

ワーク花きりん

（就労継続支援事業所）

東京メトロ東西線葛西駅より徒歩 8 分または西葛西駅より徒歩 12 分

〒134-0083 江戸川区中葛西
6-10-7 江戸川ビル 1 階

TEL : 03-6808-1670

営業日：月～金(祝・年末年始を除く) 10:00～16:00

ナース花きりん

（訪問看護ステーション）

ハート花きりん

（相談支援センター）

東京メトロ東西線葛西駅より徒歩 6 分

〒134-0084 江戸川区東葛西
7-2-5 エビス東葛西 102

TEL : 03-3869-1730 (ナース)、
03-3869-1731 (ハート)

営業日：月～金(祝・年末年始を除く) 9:00～18:00

2016 年 年末年始休業日：

12/29～1/4

（予めご了承ください）

ハート花きりんより

今年4月1日より、ハート花きりんでは勤務させていただいております。入職より半年余りになりますが、毎日が新たな体験の連続です。昨年末まで、足立区内の精神科クリニックに勤務しておりました。立場や役割こそ異なりますが、疾患と障害を抱えながら、地域で生活されている方々を支援させていただくという点では、ハート花きりんでの相談支援業務も共通しているかと思えます。

日々、病と向き合い、様々な辛い症状と闘いながらの地域生活は、ご利用者の皆様にとって、どれ程過酷なものかと思わされます。しかも、努力して治療を続けても、必ずしも病状の改善につながらないことが皆様の苦痛をさらに増幅させているようにも感じます。こうした闘病にまつわる苦難に拍車をかけているのが、精神的な疾患を抱える方達への、未だ根強い差別や偏見、無理解ではないかと思えます。地域で生活されているご利用者の皆様は、常にこうした見えない脅威にさらされているのですから、その生きづらさは、我々支援者の想像を絶するものではないかと考えます。

病状の波の中で、自信を失ってしまわれている方や、未来への希望を見出せずにいらっしゃる方も少なくないと思います。ただ、表面を覆っている病状に目を奪われることなく、疾患や障害によって損なわれることのない、ご利用者様お一人お一人の尊い本質に目を留める者でありたいと思います。そして、一緒に迷い、一緒に悩みながら、様々な重荷を担われている皆様と共に歩む支援者でありたいと切に願います。

金子 香織（かねこかおり）

☆☆ちょっとひとコマ☆☆

東京ソテリア様の企画により、当事者・ご家族、医師・支援者のみなさまと一緒にイタリアのボローニャに行ってきました。市の精神保健局のご協力によりさまざまな施設に伺い、日伊の当事者家族と支援者のかたと素晴らしい交流をすることができました。次回以降、当日の様子などをお伝えできればと思います。

鶴岡 恵子



Web サイトもご覧ください。URL: <http://www.collaboedogawa.net>

"コラボえどがわ"と入力して検索ボタンをクリック

 検索